

## 白浜レスキューネットワーク通信 4月号

〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町 3137-8

TEL&amp;FAX0739-43-8981

http://srnw.or.jp

e-mail yabiumi@gmail.com

理事長 藤藪庸一

郵便振替 00920-6-85589 口座名：白浜レスキューネットワーク  
 紀陽銀行白浜支店普通預金 589389 口座名：NPO特定非営利活動法人  
 白浜レスキューネットワーク

### 自殺者救済活動

4月1日～4月30日

電話件数 250件

メール相談 4人

保護件数 0件

帰宅件数 0件

### 生活自立支援活動

4月1日～4月30日

滞在者数 15人(男性 12人、女性 3人)

召天者数 1名(女性 1名)

○昨年10月に保護した80代女性は、お昼ご飯の準備や片付け、お花の手入れなど、忠実にやっている。夕方、温泉に行く道中など、人間関係も広がって来た。

○高卒卒業資格を取ろうとしている20代男性は、晴れて明誠高校和歌山白浜SHIPの高校生として一歩踏み出した。

○コンビニとまちなかキッチンで働く20代女性は、まちなかキッチンでは事務的な能力が光る。

○デイサービスに週3回行き、ヘルパーがほぼ毎日入っている80歳の男性は、気候も良くなったこともあり散歩に出ることも増えた。

○タクシーの運転手になった男性は、五月の連休明けに会社の寮に移ることになった。

○他の飲食店やホテルなど接客業を探していたが、まちなかキッチンでの訓練に集中することになった男性は、なんでもまとめて後でやるという癖が大きな失敗に繋がっている。

○もうすぐ共同生活4年になる男性は、僕との交換日記が10冊目に突入。振り返りに今でも読み返すという。

○共同生活に加わって一年経った女性は、夜なかなか眠れないことが課題。疲れていても眠れないらしい。

○5月から滞在中脳神経外科を受診している男性は、病院で、動きづらい足など動かすリハビリが始まった。

○30日、70代女性が召天した。白浜町の斎場でお別れの時を持った。最後は穏やかな顔だった。

○40代男性は、一生懸命働き、活躍の場を広げている。掃除に関しては自信をつけた。

○今年2月から、ホテルで働き始めた40代の男性は、まじめに仕事に行っていたが、コロナの影響で営業自粛となり、自宅待機となった。農業にかかわってもらうことに。

○昨年10月に近所のアパートに引っ越してきた女性は、とにかく上から相手を裁く。今月もその話を本人と話めた。

○2月から滞在中始めた高校生は、晴れて、以前通っていた高校から転校という形で、正式に明誠高校和歌山白浜SHIPの生徒となった。

### 自殺予防活動

#### ・相談電話

1日、8日、15日、22日、29日と行なった。今月も1人の相談員が休まず電話相談にあたった。

\*コロナウイルスの感染予防のため、以下の活動を自粛。

- ・放課後クラブ・コペルくん
- ・夜コペ
- ・はじめ人間自然塾
- ・少年少女漂流隊